

□ 次の計算をしなさい。ただし、(5)は割り切れるまで計算し、小数で答えなさい。

$$(1) \quad 16 - 9 - 2$$

$$(2) \quad 398 + 217$$

$$(3) \quad 14 \times 7 \times 7.5$$

$$(4) \quad 1.08 + 17.2 - 0.9$$

$$(5) \quad 68.4 \div 24$$

$$(6) \quad 9.6 + 17.2 \times 3$$

$$(7) \quad 5\frac{1}{3} - 2\frac{3}{7} - 2\frac{1}{2}$$

$$(8) \quad \frac{1}{3} \div 1\frac{1}{7} \times 2\frac{2}{5}$$

$$(9) \quad 25 \div 16 + 9.5 \div 1.6$$

$$(10) \quad 2\frac{2}{3} \div \left(1\frac{1}{3} + 0.8 \right) - 0.375 \times \frac{2}{7}$$

② 次の問いに答えなさい。

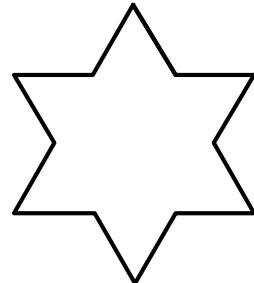
(1) 式 $\boxed{} \div 15 = 13$ あまり 9 の $\boxed{}$ にあてはまる数を求めなさい。

(2) $\frac{17}{24} = \frac{204}{300 - \boxed{}}$ の $\boxed{}$ にあてはまる数を求めなさい。

(3) 上底と下底の長さの比が $7 : 12$, 高さ 6 cm の台形があります。下底の長さが 18 cm であるとき, この台形の面積を求めなさい。

(4) 20.5 kg は 25 kg の $\boxed{}$ 割 $\boxed{}$ 分です。 $\boxed{}$ にあてはまる数を求め, 解答用紙にあうように答えなさい。

(5) 右の図形について, 対称の軸は何本あるか求めなさい。
ただし, 右の図形は正三角形を 2 つ組み合わせた図形で, 辺の長さはすべて等しいものとする。



(6) Aさんは家から 1.2 km 離れた図書館まで往復するのに, 行きは分速 50 m で歩き, 図書館で 40 分 調べ物をして, 帰りは分速 48 m で歩いて家に帰った。Aさんが家から出発して帰ってくるまでに, 全部で何時間何分かかりましたか。

③ 次の問いに答えなさい。

- (1) ①, ②, ③, ④ の 4 枚のカードがあります。このカードを 2 枚ずつにして、2 つの 2 けたの数をつくり、それらの積を求めます。積がもっとも大きくなる組合せを、解答用紙にあわせてかきなさい。

$$\square\square \times \square\square = (\text{積})$$

(2 けた) (2 けた)

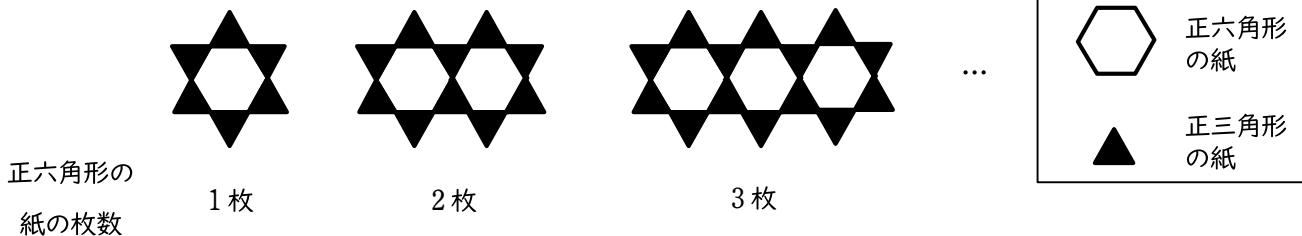
- (2) 生徒 15 人が 10 点満点の算数の小テストをしました。右の表は、その 15 人全員の点数の結果をまとめたものです。

次の各問いに答えなさい。

- ① (ア) あてはまる数を求めなさい。
② この小テストの平均点を求めなさい。

| 点数(点) | 人数(人) |
|-------|-------|
| 10 | 3 |
| 9 | (ア) |
| 8 | 2 |
| 7 | 1 |
| 6 | 3 |
| 5 | 2 |

- (3) 下の図のように、正六角形の紙のまわりに正三角形の紙を並べて、図形をつくる。正六角形の紙が 7 枚並んだ図形をつくったとき、正三角形の紙は全部で何枚になりますか。



- (4) 次の $\boxed{\quad}$ にあてはまる数を答えなさい。

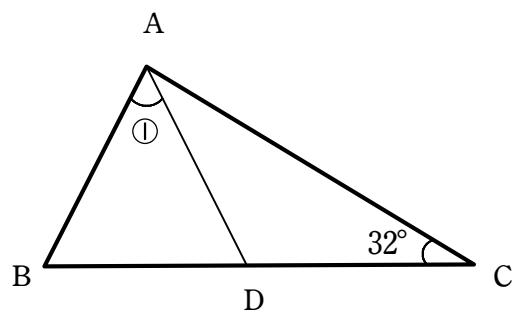
① $0.41 \text{ km} + 180 \text{ m} - 700 \text{ cm} = \boxed{\quad} \text{ m}$ ② $\frac{124}{125} \text{ L} = \boxed{\quad} \text{ cm}^3$

③ $0.016 \text{ km}^2 = \boxed{\quad} \text{ m}^2$ ④ $11 \text{ 時間 } 12 \text{ 分} \div 7 + 13 \text{ 分 } 45 \text{ 秒} \times 4 = \boxed{\quad} \text{ 時間 } \boxed{\quad} \text{ 分}$

④ 次の問いに答えなさい。

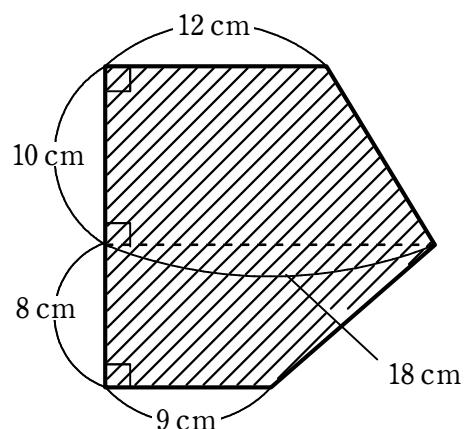
(1) 右の図の①の角の大きさを求めなさい。

ただし、三角形 ACD は $AD=CD$ の二等辺三角形、
三角形 ABD は $AB=AD$ の二等辺三角形である。

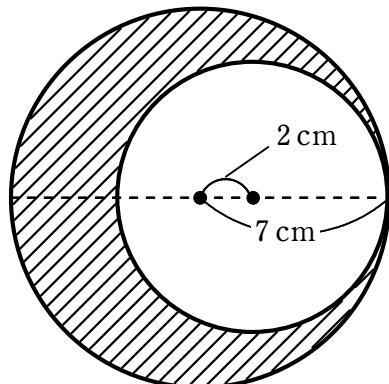


(2) 次の斜線部分の面積を求めるさい。^{しゃ}ただし、円周率は 3.14 とします。

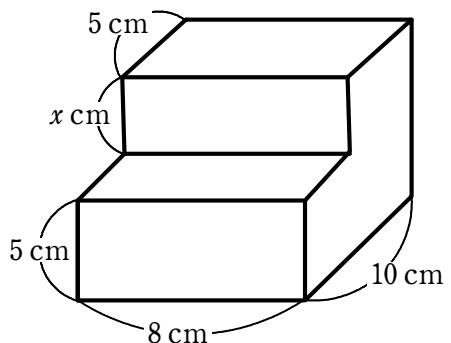
①



② 2つの●は、それぞれの円の中心

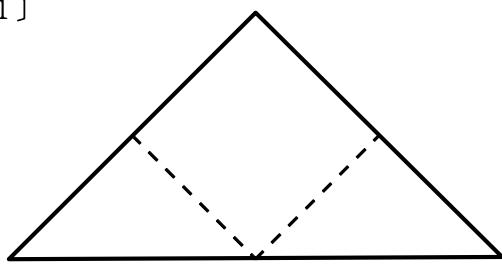


- (3) 右の立体は直方体を2つ重ねたものである。この立体の体積が 520 cm^3 であるとき, x の値を求めなさい。

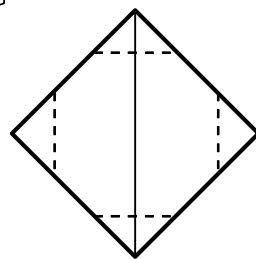


- (4) 正方形の紙片を対角線の1つに沿って折り, [図1]のような直角二等辺三角形を作り, さらに[図1]の点線部分で折り曲げて, [図2]のようにした。これを[図2]の点線に沿って切断し, 広げたときに最も大きい紙片の形として, 正しいものを①～⑥から1つ選びなさい。

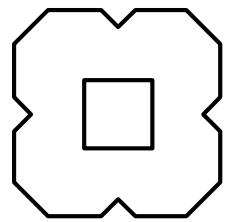
[図1]



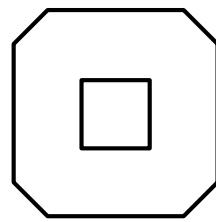
[図2]



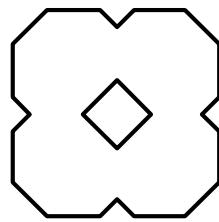
①



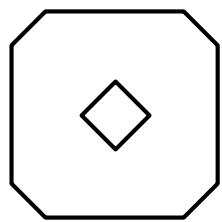
②



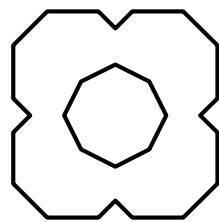
③



④



⑤



⑥

